

# みはら再発見 わたしのまちのふるさと大使

市の情報発信や産業・観光などの振興のため、市にゆかりのある15人と1組に「三原市ふるさと大使」を委嘱しています。

最終ページでは、三原市ふるさと大使の皆さんの三原の好きなところや思い出などを紹介します。

観光課 ☎0848・67・6015

## 念ずれば叶う

(原晋さんの直筆メッセージ)



青山学院大学陸上競技部監督  
原 晋 さん

三原市糸崎出身。中学校から本格的に陸上競技を始め、世羅高校、中京大学へ進学後、中国電力(株)に入社。平成16年から青山学院大学陸上競技部の監督を務め、箱根駅伝で4年連続の総合優勝を達成。テレビ番組にも出演するなど、さまざまな場面で活躍している。

「今や箱根駅伝はお正月の風物詩となりました。結果はどうあれ各大学の学生たちの頑張りを見ていただき、今年も新たな気持ちで頑張るぞ!!と思っただけなのであれば幸いです。同郷のよしみとして、ほんの少しだけ青山学院大チームを応援してくださいね」

—三原市での思い出を教えてください。

「私が長距離選手として歩みだした小学校4年生の時に参加した『三原市健康マラソン』です。糸崎小学校4年生の同期の中でも背の順で前から数番目の小柄な私でしたが、走ることに多少なりとも自信はありました。初めてのマラソン大会に心躍らせ出場しました。結果優勝はできませんでしたが上位でゴールしたことを記憶しています。それ以降、走る喜びに目覚め地域のさまざまなマラソン大

会へ出場することになりました。今こうして箱根駅伝の指導者として日本長距離界に携わらせていただいているのも、あの大会の存在が大きかったですね」

—三原市の魅力はどこだと思いますか。

「新幹線が止まる駅、空港、港などの施設と海、山、川の豊かな自然があるまちは、全国の市町村の中でもあまり例がないのではないのでしょうか。自信を持ってPRしたいまちですね」  
—市民の皆さんへのメッセージをお願いします。



### 私の好きな風景

「御山」(糸崎町)から見る瀬戸内海の島々は心和む風景ですね。

### あ・と・が・き

お正月といえは箱根駅伝。子どもの頃は父がテレビを独占して観戦するため、あまり好きではありませんでしたが、今や私もすっかり箱根駅伝のとりこに。毎年、テレビにかじりついて応援しています。ゴールに向かって懸命にたすきをつなぐ選手たちの姿は胸を熱くさせますね▼今年の私の目標はパワフルに過ごすこと。箱根駅伝の選手のように力強く、そして粘り強く1年を駆け抜けたと思います(F)

### 三原市の人口 (11月30日現在)

※外国人住民を含む。  
※( )内は前年同月との比較。

世帯数	43,689 世帯 (-219)
人口	94,456 人 (-1,349)
男	45,241 人 (-619)
女	49,215 人 (-730)

人口移動の詳細については  
広島県 人口移動 月報 で  
検索

### 税などの納期 (普通徴収)

- 市県民税 (第4期)
  - 国民健康保険税 (第7期)
  - 介護保険料 (第7期)
  - 後期高齢者医療保険料 (第7期)
- 納期限 31日(木)まで  
夜間収納窓口(19時まで)  
3日を除く木曜日

### 航空機の騒音測定結果(11月分)(Lden)

- ▶正広局(本郷町善入寺正広)=50.6
- ▶本郷局(本郷町船木川西上)=54.5

平成31(2019)年1月号  
第166号 毎月1日発行  
編集・発行／三原市秘書広報課

〒723-8601 広島県三原市港町三丁目5番1号  
秘書広報課 ☎0848・67・6007  
市ホームページ <http://www.city.mihara.hiroshima.jp/>

再生紙と大豆インクを使用しています。  
点字版や録音テープ・CDも発行しています。問い合わせは秘書広報課へ。